

# 留萌地区 教育経営研究会

- |   |       |  |
|---|-------|--|
| 1 | 目 的   | 北海道小学校長会・北海道中学校長会と連携を図り、教育界を取り巻く今日的諸課題について情報・意見交流を行うとともに、研修テーマに基づく学習会を通じて、会員の資質向上に努め、学校経営の充実安定を図る。                 |
| 2 | 主 催   | 北海道小学校長会 北海道中学校長会 留萌管内小中学校長会   |
| 3 | 後 援   | 苫前町教育委員会   |
| 4 | 期 日   | 令和6年9月25日（水）   |
| 5 | 会 場   | 苫前町コミュニティセンター  |
| 6 | 参 加 者 | 留萌管内小中学校長  |
| 7 | 日 程   | 10：30～10：45 開会式<br>10：45～12：00 全国・全道情勢報告・質疑応答<br>13：00～14：20 研修会① 講話<br>14：20～15：25 研修会② グループ協議<br>15：25～15：35 閉会式 |

## 開 会 式

- |   |          |            |     |                  |
|---|----------|------------|-----|------------------|
| 1 | 主催者挨拶    | 留萌管内小中学校長会 | 会 長 | 亀田 寛人（留萌市立留萌中学校） |
| 2 | 来賓挨拶     | 苫前町教育委員会   | 教育長 | 開発 法起 様          |
| 3 | 日程説明・諸連絡 |            |     |                  |

主催者挨拶として留萌管内小中学校長会 会長 亀田寛人より「校長職は日々重圧の中にあり、その重圧と戦うための手段は学ぶことと校長会の横のつながりを強固にすることである。校長としての覚悟をもち、目標・目的、方策、結果を常に自問自答し、自分と向き合いながら校長職を全うしていこう」と呼びかけた。

## 全国・全道情勢報告 質疑応答

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| ◇運営～司会進行：組織部副部長 | 佐藤美智子（苫前町立苫前中学校）   |
| 記 録：組織部         | 平田 佳子（初山別村立初山別小学校） |
|                 | 吉田 久（天塩町立啓徳小学校）    |

### 【情勢報告】

北海道小学校長会 会計理事 村上 智樹 氏（札幌市立白楊小学校）

- ① 北海道小・中学校長会の活動報告
- ② 教育情勢・教育情報として「文科省教育情報化実態調査」、中教審答申「教員の処遇改善策」、道小「役職定年者動向調査」等についての説明

### 【留萌地区からの質問に対する回答】

北海道小学校長会 情報部幹事 高梨美奈子 氏（札幌市立前田北小学校）

北海道中学校長会 対策部幹事 小田嶋智一 氏（旭川市立北星中学校）

- ①複式学級の今後の定数見直し
- ②「学びの多様化学校」の設置について道内の状況と道教委の見解
- ③端末整備についての見直し
- ④特別支援学級の配置基準の見直し

⑤役職定年後の処遇についての実情

⑥部活動地域移行、中体連の業務について今後の見通しや対応

## 研修会～講話・グループ協議

◇運営～司会進行：組織部副部長 佐藤美智子（苫前町立苫前中学校）

記 録：組織部 平田 佳子（初山別村立初山別小学校）

吉田 久（天塩町立啓徳小学校）

【演 題】「学校として組織的に取り組む子ども理解・不登校理解」

～ストレングス視点とエンパワメントを基盤に～

【講 師】田 村 千 波 氏

北海道教育委員会チーフスクールソーシャルワーカー

【講話の概要】

不登校児童生徒理解、集団への不適應や不安をもっている児童生徒とその保護者についての理解、バイスティックの7原則を中心にした対人援助技術など、SSWとしての知識と多くの経験に裏打ちされた大変示唆に富んだ講話となった。

<主な内容>

- ①SSWとは
- ②教育相談の流れ
- ③子ども理解
- ④保護者理解
- ⑤対人援助技術
- ⑥事例

【感 想】

- ◆講話は非常にタイムリーな話題で、当事者意識をもって聞くことができました。また、資料も豊富で今後の学校運営に参考になるものでした。
- ◆発達障がいだけでなく、HSC や愛着の不形成など、今まで曖昧だったことが、明確に示され納得がいきました。早速いただいた資料を先生方に回覧し、参考にさせていただきます。

【グループ協議】

テーマ1「学校として組織的に取り組む子ども理解・不登校予防」、テーマ2「校内適応指導教室の現状と取組」について、中学校区で編成された4グループに分かれ各学校の状況などを交流した。また、講師もグループ協議に参加し、短時間ではあったが充実した協議となった。

## 閉 会 式

1 主催者挨拶 留萌管内小中学校長会 副会長 村井 亨（留萌市立東光小学校）

2 諸連絡

主催者挨拶として留萌管内小中学校長会 副会長 村井 亨より「地区経営研は最新の教育情勢、今日の教育課題などを学び、校長の資質向上、今後の学校経営に生かすことをねらいとして58年続いてきた。時代は教育を受ける子どもたちが教育を自分事として主体的に当事者意識をもって受けることが当たり前になってきた。誰一人取り残さない、子どもが主体的となる学校を目指しお互いに頑張ろう」と呼びかけた。